

◎スモモヒメシンクイ 最重点防除期間（5月中旬～6月上旬）
シンクイ越冬世代の密度を減らすため、防除を徹底して下さい。

生育状況は、平岡地区の太陽の落花が4/26と平年並みに推移しています。（地域、品種により生育差があります。）
5月中旬からスモモヒメシンクイの重点防除期間を迎えます。第3回目（落花後）の散布以降は防除間隔10日後を目安に散布を徹底して下さい。

1. プラム 薬剤散布（第5回目～6回目の防除を掲載） *プルーン裏面

第5回

・散布時期： 5月11日～20日頃（特報 No.4の薬剤散布から約10日後）

<p>・散布薬剤：</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="width: 150px;">水</td> <td style="width: 100px;">100ℓ当り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>展着剤（ハイテンパワー）</td> <td>10ml</td> <td></td> </tr> <tr> <td>☉ イカズチ WDG</td> <td>66g</td> <td>（前日、2回）</td> </tr> <tr> <td>☉ モスピラン顆粒水溶剤</td> <td>25g</td> <td>（前日、3回）</td> </tr> <tr> <td>アグレプト水和剤</td> <td>100g</td> <td>（30日前、2回）</td> </tr> </table>	水	100ℓ当り		展着剤（ハイテンパワー）	10ml		☉ イカズチ WDG	66g	（前日、2回）	☉ モスピラン顆粒水溶剤	25g	（前日、3回）	アグレプト水和剤	100g	（30日前、2回）	<p>・散布日 5月 日</p> <p>・散布量 ℓ</p>
水	100ℓ当り															
展着剤（ハイテンパワー）	10ml															
☉ イカズチ WDG	66g	（前日、2回）														
☉ モスピラン顆粒水溶剤	25g	（前日、3回）														
アグレプト水和剤	100g	（30日前、2回）														

・対象病害虫：シンクイムシ類、アブラムシ類、黒斑病（かいよう病）

・散布量：10a当り SS400ℓ 動噴500ℓ

・注意事項

- ① 5月末までの農薬散布は、葉、果実とも軟弱であり、（時間帯・薬液量等）十分注意する。
- ② アグレプト水和剤、アグリマイシンは、ぶどうにかかると種無し果を生じるので隣接園に掛からないようにする。
- ③ カイガラムシ類の発生がある場合は、アプロードフロアブル1000倍（14日前、2回）を加用する。

第6回

・散布時期： 5月21日～30日頃（第5回の薬剤散布から約10日後）

<p>・散布薬剤：</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="width: 150px;">水</td> <td style="width: 100px;">100ℓ当り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>展着剤（ハイテンパワー）</td> <td>10ml</td> <td></td> </tr> <tr> <td>☉ バイスロイドEW</td> <td>33ml</td> <td>（14日前、2回）</td> </tr> <tr> <td>マイコシールド</td> <td>50g</td> <td>（21日前、3回）</td> </tr> </table>	水	100ℓ当り		展着剤（ハイテンパワー）	10ml		☉ バイスロイドEW	33ml	（14日前、2回）	マイコシールド	50g	（21日前、3回）	<p>・散布日 5月 日</p> <p>・散布量 ℓ</p>
水	100ℓ当り												
展着剤（ハイテンパワー）	10ml												
☉ バイスロイドEW	33ml	（14日前、2回）											
マイコシールド	50g	（21日前、3回）											

・対象病害虫：シンクイムシ類、アブラムシ類、黒斑病（かいよう病）

・散布量：10a当り SS500ℓ 動噴600ℓ

・注意事項

- ① 5月末までの農薬散布は、葉、果実とも軟弱であり、（時間帯・薬液量等）十分注意する。
- ② カイガラムシ類の発生がある場合は、コルト顆粒水和剤の2000倍（前日、3回）を加用する。

2. プルーン 薬剤散布（第3回目）

・散布時期： 5月18日～22日（特報 No.3の防除から約14日後）

・散布薬剤：

水	100ℓ当り	
展着剤（ハイテンパワー）	10ml	
アプロードフロアブル	100ml	（14日前、2回）
アーデントフロアブル	50ml	（前日、3回）
アグレプト水和剤	100g	（30日前、2回）

・散布日	5月	日
・散布量		ℓ

・対象病害虫：黒斑病、かいよう病、ハダニ類、（シンクイムシ類）、カイガラムシ類幼虫

・散布量：10a当り SS400ℓ 動噴 500ℓ

・注意事項

- ① アグレプト水和剤、アグリマイシンは、ぶどうにかかると種無し果を生じるので隣接園に掛からないようにする。
- ② 黒斑病の発生する場合は、再度、5月下旬にアグレプト水和剤1000倍（30日前、2回）を散布する。

3. 薬剤散布時の注意点

- ・隣接園、特に収穫期の作物に飛散しないように注意して下さい。
- ・「放花昆虫保護」のため、必ず早朝散布して下さい。

4. 今後の管理 摘果作業（結実判明後）

品種では、秋姫⇒大石早生⇒菅野中生⇒貴陽⇒太陽などの順に5月中旬頃から

- ・予備摘果→仕上げ摘果→見直し摘果
- ・園内が暗くなりやすいので新梢の整理を行なって下さい。
- ・ふくろみ病の果実は翌年への越冬菌増加に繋がりますので、園外へ除去して下さい。

【お知らせ】

新型コロナ感染拡大防止のため、当面の間、講習会の開催を自粛します。皆様のご理解をお願い致します。（資料配布等により対応させていただきます）

詳細は、担当へお問い合わせください。

園芸課・金井 携帯 090-1867-2510